

通常授業が始まりました

4月の始業式のあと約2ヶ月のコロナ休校と短縮授業を経て、15日（月）より50分授業が始まりました。暑くなるな

かでのマスクをつけながらの生活です。熱中症にならないように気をつけましょう。

特集 with corona（新着図書を中心に）

近畿地方では落ち着いているように見える新型コロナウイルスですが、東京や北海道ではまだ感染者が多々でています。また、世界の各地でもいまだに猛威をふるっています。これからはコロナとの共生（with corona）がしばらくは必要ようです。図書館では新型コロナウイルスに関する本や感染症をテーマにした小説などを用意しました。これらの本を読んでこのコロナ禍を乗り切りましょう。



「感染症大全 病理医だけが知っているウイルス・細菌・寄生虫のはなし」堤寛著

日常に潜むウイルス、細菌、寄生虫から新型コロナウイルスまで感染症を専門とする病理医が語る、怖くて、おもしろくて、ためになる、えり抜きエピソード。

「免疫力を高めてウイルスに勝つ 食べ物、暮らし方」石原結實著

体温を1度上げれば免疫力は数倍に！コロナ、風邪、インフルに対処する食事の採り方、暮らし方、運動の仕方を紹介。

「ドクターG(じい)の教訓 番外編 コロナ騒動」高橋弘憲著

“医療崩壊”はくいとめられるのか。くいとめるために、政治家・医療関係者・国民は、どう考え、行動すればいいのか。老境のドクターGが新型コロナウイルスの正体に迫る！



「どうする！？新型コロナ」岡田晴恵著

新型コロナウイルスはどんな病気？どうしたら感染を予防できる？かかったと思ったときにはどうする？ウイルス学の専門家や臨床医からの確かな情報をもとに、Q&Aとイラストで簡潔に解説。

「みんなのアマビエ」 扶桑社刊 	「リスクの正体 不安の時代を生き抜くために」 神里達博著 	「コロコロ日記 新型コロナウィルス・NEWSウォッチ」 ヒゲマルコ/作 
疫病を退散させるというアマビエ。いろいろな作家が描くアマビエがいっぱい。	新型コロナウイルス、豪雨災害、地震の恐怖……。さまざまなリスクの中、我々はどうむきあっていけばいいのか。斬新な切り口で考察する。	コロナに翻弄された日々を1月から4月上旬までの楽しいイラストとともに紹介
「感染症と文明 共生への道」 山本太郎著 	「夏の災厄」篠田節子著 	「ペスト」カミュ著 
感染症と人類の関係を文明の発祥にさかのぼって考察し、感染症との共生の道をさぐる	真夏の東京郊外ニュータウンに突如発生した感染病が町を蝕み続ける。世紀末の危機管理を問うパニック小説の傑作。	アルジェリアのオラン市で発生したペスト。外部と遮断された孤立状態のなかで、必死に「悪」と闘う市民たちの姿を描く古典名作。

図書担



当の紹介

今年はこの3人が

宮井章（商業・情報）

前田順次（英語）

今出和良（司書）

